９月２３日、山・川・海のつながりを考える**舟入川ウォーキング＆いかだ下り**が舟入川ウォーキング実行委員会（山田堰井筋土地改良区）の主催により開催されました。

参加者は土佐山田町談議所から南国市のゴールを目指して、舟入川沿線をウォーキングしました。

また、南国市金地からは、小学５・６年生がいかだ下りを体験し、楽しんでいました。

コース途中では、山田堰を造った野中兼山の話や水にちなんだ話がされ、ゴール地点では、水路から引き上げられたゴミ等の展示があり、河川環境について考える良い機会となりました。

物部川の鮎が日本一に！

９月１６日、城西館で開催された**第１４回清流めぐり利き鮎会**で、物部川下流で獲れた天然鮎（あゆ）が日本一に輝きました。

この会は高知県友釣連盟の主催により開催され、全国５５の河川から鮎が集められ、食べ比べが行われました。

とどけ！想い！東北へ

９月１１日、中央公民館で**香美市歌と踊りのチャリティーショー**が開催され、１３０組の出演者が歌と踊りを披露しました。

このショーは**チャリティー紅白歌合戦と山田歌謡研究会**の主催により行われ、集められた出演料・入場料の全額７５万８，３５５円が東日本大震災義援金として香美市に預けられました。

◆◆◆東日本大震災義援金最終結果報告◆◆◆

自治会・広報誌等を通じて東日本大震災に対する義援金を募った結果、香美市へ、９月３０日までに総額１，１６０万３，１３５円が集まり、市からの義援金として、日本赤十字社高知県支部へ送金しました。

ご協力いただきました皆さまへ心からお礼申し上げますとともに、被災地の皆さま方の一日も早い復興の手助けとなることをお祈り申し上げます。

香美市長　門脇 槇夫

義援金の今後の取り扱い

香美市での取り扱いは９月３０日をもって終了しました。日本赤十字社高知県支部と高知県共同募金会で、平成２４年３月３１日（予定）まで義援金を募っています。今後ともご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

日本赤十字社高知県支部　☎088−872−6295
社会福祉法人高知県共同募金会　☎088−844−3525

刃物まつり＆大学祭

写真説明
①広場での催し②大勢の来場者でにぎわう会場③土佐打刃物の販売④大学祭のメインステージで行われた、Ms.&Mr.工科大。雨の中でも、大勢の観衆で盛り上がりました。

１０月１５日・１６日、鏡野公園で**第３０回刃物まつり**が開催されました。今年も、まつりの名物**山田のかかしコンテスト**（入賞作品は表紙・裏表紙掲載）や伝統工芸士による**鍛造体験教室**が行われ、たくさんの人出でにぎわいました。

また、同日高知工科大学でも、**第１５回高知工科大学大学祭**が行われ、ステージイベントを中心に多彩な催しが行われました。

おもいやりを持って生きよう

９月１５日、山田小学校で**ＯＭＯＩＹＡＲＩ音楽会**が開催され、児童や保護者約９００人が参加しました。この音楽会は**南国青年会議所**が主催し、手話と歌で子どもたちのおもいやりの心を育てることを目的に行われました。

南国市の手話サークル**まほろばの里**から手話について話があったあと、**元ル・クプル**のボーカル藤田恵美さんが、ヒット曲『ひだまりの詩』や、『ＯＭＯＩＹＡＲＩのうた』を歌いました。藤田さんの透明感のある歌声に会場は魅了され、児童や保護者も藤田さんと一緒に手話を織り交ぜて参加し、会場が一体となりました。

ゴジラも登場！

９月１７日・１８日、えびす商店街（土佐山田町）で**第１４回ゑびす昭和横丁**が開催されました。

月光仮面のテーマソングが流れ、クラシックカーが並ぶ昔懐かしい雰囲気を、親子連れやカップルが楽しんでいました。

今年も高所作業車のコーナーでは、約１４㍍の高さから山田の街を一望しようと、長い列が途絶えませんでした。